

総合計画審議会 会議録

会議名	第4回 いなべ市総合計画審議会
開催日時	平成27年1月22日(木) 13:30~15:30
開催場所	いなべ市員弁コミュニティプラザ 2階集会室
出席者	<p>【委員】14名(欠席:中澤政直、種村浩人、美濃部昌利、西川良香、畑中美奈子)</p> <p>丸山康人、永井澄美、近藤勝敏、川瀬正幸、位田とよ子、伊藤和雄、出口真輔、小澤和茂、門脇よしゑ、多湖節男、水野 章、小林久里子、伊藤久子、伊藤一人</p> <p>【事務局等】14名</p> <p>いなべ市:副市長、総務部長、都市整備部長、市民部次長、福祉部長、健康こども部長、教育部長、水道部長、建設部長、農林商工部次長、企画部長、政策課長兼財政課長及び政策課職員2名</p> <p>【オブザーバー】1名</p>
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 審議</p> <p>いなべ市総合計画基本構想(素案)について【資料1】</p> <p>(1) 第1部 序論について【資料2】【参考資料】</p> <p>(2) 第2部 基本構想について【資料1】</p> <p>(3) 基本構想の審議</p> <p>4. 次回の会議について</p> <p>5. 閉会</p>
配布資料	<p>【資料1】いなべ市第2次総合計画基本構想(素案)</p> <p>【資料2】第3回審議会の意見の反映について</p> <p>【参考資料】第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査報告書</p>
公開、非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
議 事 概 要	
<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>【会長】 寒さも増し、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。今回と次回で審議が最終となるので、皆様のご意見をいただきたい。</p> <p>3. 審議事項</p> <p>【会長】 資料1は、19頁までの序論の部分がこれまでに皆さんの意見をいただき修正したものになる。事務局から説明をいただき、序論がそれでよいか皆さんに諮っていく。 では、いなべ市総合計画基本構想(素案)についてと第1部 序論について、事務局に説明を</p>	

お願いする。

【事務局】

【資料1】いなべ市第2次総合計画基本構想（素案）及び【資料2】第3回審議会の意見の反映について、【参考資料】第2次いなべ市総合計画策定のためのまちづくり市民満足度調査報告書について説明。

【会長】

いなべ市第2次総合計画基本構想（素案）と第1部 序論について詳しくご説明をいただいた。この内容でいかがか。

【委員】

前回発言した意見を入れていただいていると思う。

【会長】

この後、基本構想を説明してもらう中で、矛盾や気づいた点等あれば、また戻って意見をもらってもよい。では、次の基本構想について説明をお願いする。

【事務局】

【資料1】いなべ市第2次総合計画基本構想（素案） 第2部 基本構想について説明。

【会長】

いなべ市総合計画基本構想（素案）について説明いただいた。22頁にまちづくりの基本方針の概念図があるが、理念、将来像、概念図にあるように基本目標と関わってくる。来年の基本計画で詳細は述べられていくので、ここは大きな構想になるが、何か気が付くことがあればご意見をいただきたい。人口、財政、土地利用などは次回になるが、現段階の文言等で何かあれば。

【委員】

28頁の住宅のところ、「市民が親しみやゆとりを感じられるよう、地域の景観に配慮した良質な居住環境づくりを市民協働で推進する」「若者世代をはじめとする多様な住宅需要や市民のニーズを踏まえた良質な宅地の供給」とあるが、具体的にはどんな内容になるのか。

【オブザーバー】

市の直接の事業としては、現行計画でいえば安心安全な住まいづくり（木造住宅の耐震化支援）や市営住宅の関係、空き家活用などになると思うが、今後、若者の定住は大変重要であり、若者のニーズ把握や事業者への働きかけ等も視野に入れた内容となっている。

【委員】

声を聞く機会も持っていくということか。

【事務局】

来年度で実施を検討している。

【丸山会長】

住宅については、市民の声を聞いていこう、若者定住に向けて検討していこうということでお願いします。他にご質問等はないか。

25頁の中心的市街地とあるが、この「的」とはどういう意味か。

【オブザーバー】

合併もあり、中心市街地というものが明確になっていないと感じており、今後は新庁舎周辺が

そういう位置づけになると思うが、現段階ではそういった点にも配慮して記載している。

【会長】

他の使い方も踏まえて検討してみてください。

【委員】

大綱が出た。これまで事務局中心に進めてもらってきたが、これからは各分野で自分達のアイディアを発言していくことになる。健康分野では、健康寿命を延ばすことについては国もそういう方針である。医療をどう配置していくか。長い目で見ないとできないこともある。三重県の奨学基金のように、地元で医者になる人と早いうちから関係を築いていくことも大切である。現在、都市型のピラミッドのような体制が構築されようとしているが、名古屋や四日市に行かねば治療が受けられない、ということでは困る。国も地域も医療整備を考えなければならない。現在の保健医療の仕組みでは、大病院はやっていけるが、中小の病院は難しい。

どちらにしても、健康寿命は大変大切なこと。非常にいい項目を入れてくれたと思う。

【会長】

他にご質問等は。

【委員】

先ほど医療について発言して下さったが、お母さん達から小児科にかかりたいが、どこに行ったらいいか分からないという声を聞く。現在は四日市へ行ったりしている。長期的に診てもらいたい、介護予防や成人とともに、小さい子の命を大切にしてほしい。小さい子であればある程、短い時間の差が大切になる。文章の中でも表現してもらえればと思う。

【会長】

定住促進という視点で見ると必要なこと。文章に加えてもらってはどうか。表現方法は検討してください。

【委員】

稲作で生計を立ててきた時代とは違う考えがあってもいいのではないかと感じている。工事も無駄なところをやっていることが多い。それぞれの地域の特長を活かしていくということを考えていただけたらと思う。

【会長】

地域の個性を大事にするという視点は入れていただきたい。便利、効率だけが大事という時代でなくなってきた。わざわざ歩くことで、そのまちの良さがわかたりする。

25 頁の土地利用構想の 1 あたりのところで、それぞれの歴史文化を大事にという記述を入れていただきたい。

【委員】

小児科がありきちんとみてもらえるという体制でないと親は安心して子どもを入院させられない。小児科医が必要である。ベビーカーは小児科とは違うという視点で、一時期体制が変わったが、今、考え直してもらい、前向きに対応できるように進んでいる。ベビーカーを診られる小児科の先生がいなべに来られればいなべの子どもに対する医療は復活する。まだ具体的には言えないが、前向きな方向には進んでいるのでご報告したい。

【委員】

これは素晴らしい計画で、これからも長生きしたいなと思ったが、現在、世の中が忙しいので、ゆとりもあって、憩いを得られるというような視点も入れてはどうか。

【会長】

例えば、30 頁の高齢者のところなど。

【委員】

それに、住宅の部分にも、ゆとりを入れてほしい。

【委員】

体育協会で色々なスポーツを行っているが、いなべはスポーツやる人が多いと感じる。体育館の申込みは非常に多い。3ヶ月前から受付できて、申し込みの日には朝9時からずらっと人が並ぶ状況である。インターネットでの申し込みや、CTYの方から試験的にTVからも申し込めるようにしたいという話も出ている。体育館は、現在は員弁と大安。員弁については現在工事中で、今後は良くなるが、北勢の体育館はなくなったので、実質的に2つという状態である。できるなら、Vリーグを呼べるような体育館をつくってほしいとトヨタ車体の人も言っていた。可能であれば、計画に体育館の件についても盛り込んでほしい。また、国体が控えていが、いなべ市は手を挙げられるような大きなものがないので、その辺りも含めて書けるなら計画に入れていただければと思う。

【事務局】

基本計画の内容になると思うが、大きな公共施設の整備となると全体的に合併後の統廃合等も踏まえて慎重に検討しなければならない。

【委員】

私は私で、教育委員会などとも話してみます。

【会長】

基本構想では、そこまで具体的な内容は触れられないかもしれないが、今後基本計画で分野ごとに意見を出す機会もあると思うので、そちらで議論していく。

【委員】

スポーツの話がでたので、1つアイデアを述べたい。筋力が衰えてきたのでそろそろと思って調べた所、名古屋の市営のジムは、1回300円で、65歳以上は100円。時間無制限という格安のものがあつた。ジムは60~70歳代はもちろん、若い人、女性も安く使えるといい。今、元氣クラブが積極的に運動の活動をしているが、そういうものがあつてもいい。

【委員】

都市部にあるような大きなものはないが、この体育館にも1回200円のジムがある。一度、覗いていただいて、足りなければ教育委員会に掛け合ってみる。

【委員】

大きなスポーツジムということではなくても、東員町の公園のように程よく遊具もあり、大人も子どもも気軽に利用できるものでもいいと思う。

【委員】

いなべでは、物を置ける場所はたくさんある。我々も協力してやっていきたい。

【会長】

スポーツの話題は豊富にあるようだ。今後のワーキングで是非ご議論いただきたい。他に何か。

【委員】

認知症対策を強化ではなく、柔らかく表現してもらえればと思う。

【委員】

30 頁の高齢者のところについて、元気な高齢者への記載を、生きがいを維持するには「ものづくり」がよい。育てる、作る、色々な技術を活かせるものがものづくりの中に入っている。

【会長】

この文章は前半と後半をわけて書けば分かりやすい。前半は、ボランティア活動などを入れて活躍してもらえるように、後半は、18 頁と合わせるとよい。包括ケア、憩いやゆとりも。

【会長】

他にご意見はなければ本日はこれで終わりたいと思う。

4. 次回の会議について

【事務局】

今回は、今回のご意見を踏まえて、都市計画イメージ図、人口や財政の部分等も加えた形でお示ししたい。平成 27 年 2 月中旬頃開催予定である。日時は後日、通知させていただく。次回は基本構想の答申をいただき、3 月会議での報告を経て 6 月議会で上程予定である。来年はワークショップというか形で各部会を行い、皆さまからのご意見をいただきたいと思います。結果を踏まえて基本計画を策定し、12 月に議会報告を予定している。

【委員】

先ほど委員が発言されたように、いなべ市はスポーツが盛んである。デンソーが実業団で 2 連覇したこともすごいことだと思う。そういうことを行政にもリンク等で大いに PR していただくとありがたい。それから消防の件で先日出初式があった、消防団も人員が減少しており、いなべ市でも少年防火クラブというものをつくって活動している。こういったことも十分に PR していただきたい。

【副市長】

ご意見ありがとうございます。小さなころからの防災力を育むことは非常に重要である。色々な形で広報についても強化していきたい。

5. 閉会

その他事項

なし